英米文学科主催講演会記録（昭和 47 年～）

開催日	講演者　・　演　題
昭和 47 年 5 月 18 日(木)	外山　滋比古　氏（お茶の水女子大学教授） 「英文学の研究について」
昭和 47 年 6 月 16 日(金)	小池　滋　氏（都立大学教授） 「ピカレスク小説と現代」
昭和 47 年 10 月 25 日(水)	郡司　利男　氏（明治学院大学教授） 「言語の問題」
昭和 47 年 11 月 29 日(水)	高橋　康也　氏（東京大学助教授） 「アリスの不思議な国」
昭和 48 年 6 月 20 日(水)	西脇　順三郎　氏　座談会 「詩の話」
昭和 58 年 6 月 24 日(金)	大江　健三郎　氏
昭和 58 年 11 月	Donald Keene 氏（コロンビア大学教授）
昭和 59 年 6 月 1 4 日(木)	トミー 植松　氏（玉川大学教授）
昭和 59 年 12 月 6 日(木)	大岡　信　氏 「私と西欧詩」
昭和 60 年 6 月 27 日(木)	星野　徹　氏（茨城大学教授） 「詩と批評について」
昭和 60 年 11 月 28 日(木)	梶木　隆一　氏（明星大学教授）
昭和 61 年 11 月 14 日(金)	Melissa Erin Curry-Watt　女史 「アマーストの美女」－エミリー・ディキンソンの生涯－
昭和 62 年 6 月 25 日(木)	小池　滋　氏（都立大学教授） 「鉄道と文学」
昭和 63 年 6 月 9 日(木)	谷川　俊太郎　氏　・　ウィリアム・エリオット　氏 「詩の集い（朗読とおしゃべり）」
平成元年 6 月 14 日(水)	高橋　康也　氏（東京大学教授） 「猫と文学」
平成元年 12 月 6 日(水)	小田島　雄志　氏（東京大学教授、演劇評論家） 「シェークスピアの人間学」
平成 2 年 6 月 28 日(木)	白井　佳夫　氏　（映画評論家） 「私の映画学」

平成 3 年 12 月 4 日(水)	海老根　宏　氏（東京大学教授） 「ハーディーの『テス』－自然と精神」
平成 4 年度	講演会開催されず
平成 5 年 6 月 14 日(月)	ジューエル・スピアズ・ブルッカー　女史　（同志社大学教授） 「Ｔ・Ｓ・エリオットとモダニズム」
平成 5 年 11 月 25 日（木）	富士川　義之　氏（東京大学教授） 「詩と絵画－レディー・オブ・シャロットをめぐって」
平成 6 年 6 月 23 日(木)	新倉　俊一　氏（明治学院大学教授） 「眼の詩人　－　西脇順三郎と英文学」
平成 6 年 12 月 1 日(木)	羽鳥　博愛　氏（聖徳大学教授） 「大学生の英語学習はどうあるべきか」
平成 7 年 5 月 25 日(木)	マイケル・スレイター　氏　（ロンドン大学教授） 「ディケンズとクリスマス」
平成 7 年 10 月 12 日（木）	クリスティーン・アレグザンダー　女史（ニューサウスウエルズ大学準教授） 「自由の息吹『嵐が丘』研究」
平成 8 年 6 月 27 日(木)	小池　生夫　氏（明海大学教授・大学英語教育学会会長） 「国際比較から見たわが国の国家政策としての外国研究」
平成 8 年 11 月 14 日(木)	巽　孝之　氏（慶應義塾大学助教授） 「世紀末のファミリーロマンス」
平成 9 年 6 月 26 日(木)	水之江　有一　氏（千葉大学教授） 「アイルランドの文学　－　現実と神話」
平成 9 年 11 月 20 日(木)	キャスリーン・フレイザー　女史（詩人） 「アメリカ現代詩と私（詩の朗読を含む）」
平成 10 年 6 月 18 日(木)	河村　錠一郎　氏（一橋大学教授） 「物語る絵画、物語らぬ絵画－文学と世紀末の絵画をめぐって」
平成 10 年 12 月 3 日(木)	井村　君江　氏　（明星大学教授） 「ケルト文化と英文学」
平成 11 年 6 月 3 日(木)	亀井　俊介　氏　（東京大学名誉教授） 「アメリカ文化と日本文化」
平成 11 年 11 月 25 日(木)	長澤　忍　氏（詩人） 「世紀末の詩人の生活　－グーテンベルグ病からWWW病へ」
平成 12 年 6 月 1 日(木)	國弘正雄　氏　（エディンバラ大学特任客員教授） 「英語にとり憑かれた日本と私」

平成 12 年 11 月 30 日(木)	川崎　淳之助　氏（聖徳大学教授） 「オリエントと英文学」
平成 13 年 6 月 28 日(木)	藤富　保男　氏（詩人） 「詩をみるということ」
平成 13 年 11 月 29 日(木)	高山　宏　氏（東京都立大学教授） 「シャーロック・ホームズの世紀末」
平成 14 年 7 月 4 日(木)	野島　秀勝　氏（文芸評論家・お茶の水女子大学名誉教授） 「シェイクスピアとは何か」
平成 14 年 11 月 14 日(木)	アルフレッド・ハベガー　氏（カンザス大学名誉教授・作家） 「ディキンスンの不滅」
平成 15 年 5 月 29 日(木)	高松　雄一　氏　（東京大学名誉教授・元駒澤大学教授） 「ワイルドの改訂作業　－世紀末的想像力の一端」
平成 15 年 11 月 20 日(木)	ジョージ・ヒューズ　氏（東京大学客員教授） 「ラフカディオ・ハーンと女性達」
平成 16 年 3 月 5 日（金）	杉浦銀策教授最終講義 「十七世紀アメリカ・ピューリタンとピークォット戦争」－アメリカ帝国主義の原型－
平成 16 年 6 月 24 日(木)	尾崎　寔　氏（同志社女子大学教授） 「出会い－英語と詩人ハベルとシェイクスピア」
平成 16 年 11 月 18 日(木)	ロイ・ミキ　氏（作家） 「日系カナダ文学」
平成 17 年 5 月 26 日(木)	白石　かずこ　氏（詩人） 「満月のランニング」、俳句と詩の間、朗読
平成 17 年 10 月 13 日(木)	寺澤　芳雄　氏（東京大学名誉教授） 「英語の語源散策　－ことばの苑をめぐる－ 」
平成 18 年 5 月 18 日(木)	中上　哲夫　氏（詩人） 「ギンズバーグとわたし」
平成 18 年 10 月 12 日(木)	John Scahill 氏（慶應義塾大学教授） “New attitudes to love in medieval European culture”
平成 19 年 6 月 7 日（木）	川口　喬一　氏（筑波大学名誉教授） 「イギリス小説の読み方　－identity をさがす子供たち－ 」
平成 19 年 11 月 8 日（木）	荒井　良雄　氏（駒澤大学名誉教授） 「映画の世紀を生きて　－英米の映画と私－ 」 -Living in the Age of Movies：British-American Films and Myself-
平成 20 年 6 月 26 日(木)	今井　聖　氏（俳人） 「俳句と詩の交響　－子規、パウンド、ブライを巡って－ 」
平成 20 年 11 月 6 日（木）	加藤　光也　氏（首都大学東京教授） 「ハーン（八雲）とイェイツとジョイス」

平成 21 年 3 月 5 日（木）	久保内端郎教授・富士川義之教授最終講義 久保内端郎教授 「初期英語研究とテクストの問題　－ヴァリアントをめぐって－」 富士川義之教授 「文学と絵画　－ラスキンとラファエル前派－」
平成 21 年 5 月 21 日（木）	柴田　元幸　氏（アメリカ文学研究者、翻訳家） 「英米小説を読むこと、訳すこと」
平成 21 年 11 月 5 日（木）	ピータ　A　マックミラン　氏（杏林大学教授） 「和歌の翻訳を通して見る日本人の感性」
平成 22 年 6 月 17 日（木）	タイモン　スクリーチ　氏（ロンドン大学　芸術・考古学学科美術史教授） 「蘭学と読みの問題」
平成 22 年 10 月 7 日（木）	マンフレッド　ゲルラッハ　氏（ケルン大学名誉教授） 「アメリカにおける英語：合衆国、カナダ及びカリブ海地域」
平成 23 年 5 月 26 日（木）	ジェイスン　ジェイムズ　氏（ブリティッシュ・カウンシル駐日代表 英国大使館文化参事官） 「英国詩人エドモンド・ブランデンと日本」
平成 24 年 6 月 21 日（木）	ドナルド　キーン氏（コロンビア大学名誉教授） 「“俳人　正岡子規”　－半世紀の研究を語る－」
平成 24 年 11 月 1 日（木）	福間　健二氏（首都大学東京教授） 「英米の詩から学んだこと」
平成 25 年 6 月 27 日（木）	森田　則行氏（㈱ミキモト前社長） 「ブランドとは何か」
平成 25 年 11 月 21 日（木）	ジェフ・ストリーター氏 「Too Much and Never Enough」－グローバルな人材のための言語学習と評価について－
平成 26 年 6 月 24 日（火）	楠　明子氏 「シェイクスピア劇の＜女＞たち　－二つのタイプとその変容」
平成 26 年 10 月 30 日（木）	野村　喜和夫氏 「近未来近代　－わが日本近代詩書き換えの試み」
平成 27 年 6 月 11 日（木）	タイモン・スクリーチ氏 「シェークスピア時代の東インド会社、日本、イギリス文学」
平成 27 年 11 月 12 日（木）	富士川　義之氏 「詩がうまれるとき　－ ロマン主義からモダニズムへ」
平成 28 年 6 月 30 日（木）	八木　幹夫氏 「詩の面白さ　－ 自作の詩を中心に」
平成 28 年 10 月 13 日（木）	マット・バーニー氏 「ソフトパワーと文化交流が世界に与える影響」

平成 29 年 6 月 15 日（木）	小川　高義氏 「翻訳の現場レポート」
平成 30 年 6 月 28 日（木）	仙葉　豊氏 「ホガースの銅版画から読む幽霊のお話」
令和 1 年 6 月 6 日（木）	大橋　洋一氏 「映画の音を観る」
令和 1 年 11 月 7 日（木）	ジェイミー　ギビングス氏 「Cultural relations, trust and opportunities」
令和 3 年 10 月 7 日（木）	マシュー・ノウルズ氏 'Dealing with difference' – building friendship with other countries.
令和 4 年 6 月 30 日（木）	小崎　充氏 「心と体の英文法」
令和 4 年 11 月 10 日（木）	アリソン・ビール氏 The University of Oxford and the role of women in the University's history
令和 5 年 6 月 8 日（木）	西垣内磨留美氏 「黒人」を取り巻く「白人たち」多民族研究の視点から
令和 5 年 11 月 9 日（木）	ロジャー・グッドマン氏 The experience of English University Students: As seen from Japan 「日本から見たイギリスの大学生の経験」
令和 6 年 7 月 4 日（木）	丹治　愛氏 農業労働者はいつイギリスの絵画および小説に登場してくるか ―ゲインズバラ、コンスタブル、ハーディ、モリス、そしてロレンス少々
令和 6 年 11 月 28 日（木）	スペンサー・ヘイゼル氏 Machines with intercultural competence: developing conversational AI for diverse populations 「異文化対応能力を持つ機械：多様な人々のための会話型 AI の開発」
令和 7 年 7 月 3 日（木）	石原　剛氏 アメリカを生きたマーク・トウェイン――生きることとは書くこと